

はちレポ

Hachinohe Report

vol.7

いくつになっても青春！仲間と学ぶ楽しさ

八戸市鷗盟大学は高齢期を迎える皆さんが、新しい知識や教養を習得するとともに、仲間づくりの輪を広げ、生きがいのある充実した生活を送ることができるよう、昭和51年に開学しました。2年制の大学で、生活福祉科と園芸科が設置され、一般教養・専門科目を学びます。今回は、鷗盟大学卒業生の住吉さんにお話を伺いました。

園高齢福祉課 ☎43-9104



すみよし はるひこ
住吉治彦さん

コロナ禍で始めた第二の学校生活

市外に18年住んでいて、令和2年に八戸へ戻りました。役職を退任し、第二の人生をどう歩もうかと考えていた矢先、新型コロナウイルスの影響で思うように行動できない日々が続きました。そんな時、「鷗盟大学で新しい仲間をつくってみませんか」と勧められ、令和4年4月に46期生として入学しました。コロナ禍での学生生活でしたが、新たな一歩を踏み出すことができました。

まち歩きで検証、新しい発見

週1回の講義では、各分野で活躍する地元講師から八戸の歴史や文化、暮らしについて学ぶことができ、毎回新しい発見がありました。特に印象に残っているのは、2年次の「八戸中心街を誰でも楽しく歩ける街へ」をテーマとした自主研究です。高齢者をはじめ、ベビーカーを利用する親子や、障がい者も安心して歩ける街について検証しました。6月の炎天下、車椅子で中心市街地を歩き、現状や課題を体感しました。

この調査結果を市のまちづくり担当課に共有し、現場の声を直接届けることができた経験は、大きな励みとなりました。



校外学習の様子



自主研究をまとめ、市長へ報告

私生活も積極的に

同期生と「つながり46同期会」を立ち上げ、ハイキングや旅行、学友会、部活動などを通じて卒業後も交流を続け、友情を深めています。年齢や経歴の異なる仲間との出会いは、人生の大きな財産です。その経験を生かし、町内会活動や地域イベント、ボランティア活動にも積極的に参加するようになり、毎日が以前より充実し、生きがいを感じながら過ごしています。

同世代の皆さんへメッセージをお願いします

人生100年時代と言われる今、年齢を重ねても学び続けることが、人生をより豊かにすると感じています。平澤興先生の言葉に「五十六十花が咲き、七十八十実が成って、九十百歳熟れ盛り」とあります。八戸市鷗盟大学には、新しい学びや仲間との出会いがあります。勇気を出して一歩踏み出せば、きっと人生の新しい楽しみや生きがいが見つかるはずです。ぜひ入学して、その喜びを味わってください。



1月下旬から学生を募集します。詳しくは市ホームページをご覧ください。
園八戸市鷗盟大学事務局 ☎44-6523



詳しくは
こちら

広報
はち
の
へ

2026

11

No.1419

市ホームページ



市公式SNS



2026年11月号
令和8年10月20日発行

[印刷部数] 97,800部
[印刷経費] 44,704円/部



広報はちのへを、スマホで

Catalog Pocket カタポケ

This Public relations magazine can be read in 10 languages.

無料
Free App

[発行] 八戸市

031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1番1号
TEL:0178-43-2111 FAX:0178-45-2077

[編集] 八戸市総合政策部広報統計課

TEL:0178-43-9317 FAX:0178-47-1485

UD
FONT
by MORISAWA